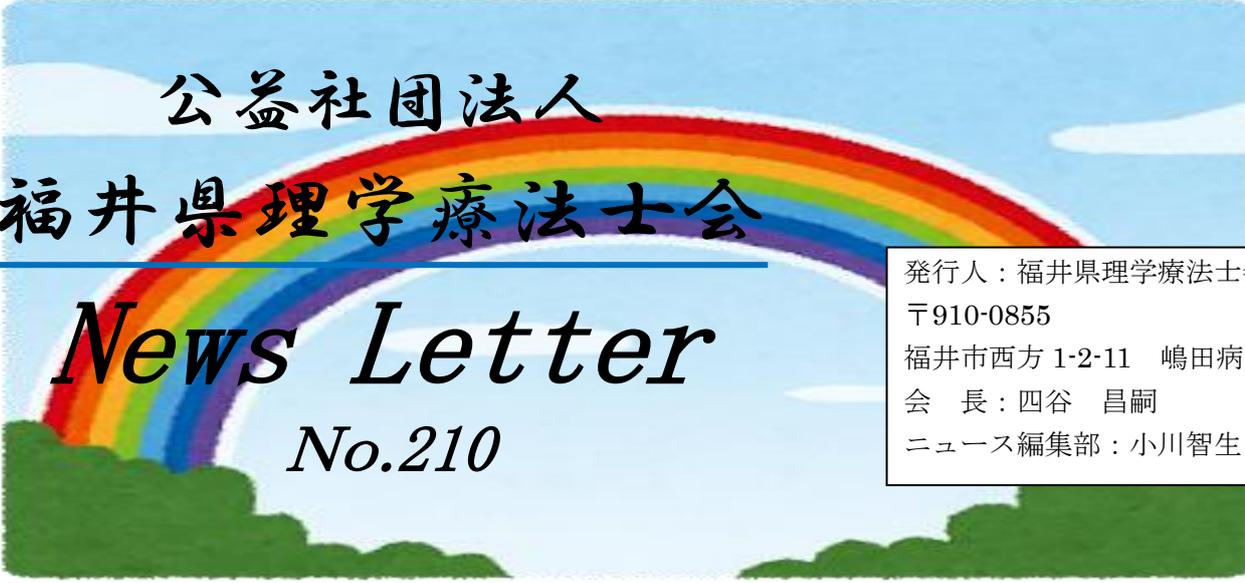


2023年6月30日 発行



公益社団法人
福井県理学療法士会
News Letter
No.210

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方 1-2-11 嶋田病院
会 長：四谷 昌嗣
ニュース編集部：小川智生

「福井県理学療法士会と政治活動」

代表理事 四谷 昌嗣

会員の皆さまにおかれましては、日頃より福井県理学療法士会の運営にご協力を賜り、感謝申し上げます。また、昨年の参議院議員選挙におきましても、我々の組織代表へのご支援を賜りまして、誠にありがとうございました。

さて、今回は福井県理学療法士会と政治活動に対する会長の考えを、会員の皆さまにお伝えしたいと思います。当士会会員の皆さまの中には、「理学療法士と政治は無関係では」や「政治」「選挙」という言葉に一種のアレルギー様の反応を示す方がいらっしゃるのではないのでしょうか。理学療法士は、国民皆保険制度の下で国民の保健・医療・福祉の充実に向けた医療専門職であるため、法律上の各種制度の影響を大きく受けます。そのため、理学療法士が政治力をもつことは大変重要なことです。また、福井県士会が、会員の皆さまに利益となるよう一定の政治的信条を持って活動することは、法的に問題はありません。そのようなことから、現行の保険制度下で我々の意見を代弁できる理学療法士の仲間を、福井県士会はこれからも全面的に応援していきます。

日本理学療法士協会会員の年齢構成をみると、30代以下の若い会員が多い組織で、福井県士会も同様です。若い会員の人生や、理学療法士として夢を持ち続けられるようサポートしていくことが県士会としての大きな仕事だと考えます。そのため、福井県士会のすべての会員が政治的に不利益を被ることはないように、引き続き万全の対応をしまいたいと考えております。

これからも福井県士会主催学会・研修会等におきまして、我々の組織代表に参加し、挨拶をしてもらい場面があります。これは、会員の皆さまに理学療法士を取り巻く現状を理解していただくと同時に、我々の生活をより良くしていくためにも非常に重要で意味のあることだと考えます。今後も理学療法士に政治力が必要であることについて、福井県理学療法士連盟と連携を密にし、皆さまへご理解を求めながら活動を推し進めてまいります。

会員の皆さまにおかれましても、今後とも福井県士会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2023年6月30日

新入会員紹介 2023

今年度の新入会員を紹介します！！



寿人会 木村病院
前田瑞季 足立考哉 小林のあ



大滝病院
今澤佑哉



杉田玄白記念公立小浜病院
東野快成



福井厚生病院
金森貴也 鈴木美来

2023年6月30日



福井総合病院

高松芳乃佳 岡出日和 谷根進太郎 谷口健人



嶋田病院

三嶋佑佳 小笠原真弥 板本真準 荒川颯志



山内整形外科

林萌々花

2023年6月30日

WORKING!

「士会学術大会部のお仕事」

士会学術大会部は、学術誌部、生涯学習推進部、研修管理部とともに学術局を構成する4部門のひとつです。

『福井県理学療法学術大会』の企画・運営を通して、会員の研究力・臨床力・教育力の向上を支援しています。

2023年5月20日（土）・21日（日）には、福井循環器病院の清水浩介先生を大会長に迎え、『理学療法の根幹をなす知識と技術の再考』をテーマに掲げ、第27回福井県理学療法学術大会が開催されました。第25回・26回学術大会に引き続き、従来までの現地開催に加え、オンライン環境での参加を可能にしたことで、WEB参加者が大多数を占め、今まで参加したくても参加できなかった方々も参加しやすい環境が整ってきたのではないかと感じています。

本大会ではコロナ禍で実施できていなかったハンズオンセミナーが復活しました。臨床で使える理学療法技術について、講師の先生から直接学ぶことのできる機会となったと思います。

士会学術大会部の活動内容は多岐にわたり、次期大会に向けての準備は、1年前から始まっています。学術大会のテーマの決定、プログラムの練り上げ、講師やシンポジストの選定・連絡など、大会長の学術大会に寄せる想いを実現するために、ミーティングを重ね大会を造り上げていきます。

今大会からは、この活動において大きな改革がありました。大会長選出をブロックから行い、所属ブロック局と協働して学術大会の企画・運営を進めたことです。ブロック局と協働することで、ブロックでの取り組みや特性を生かした学術大会になったのではないかと思います。さらに、協働することで新しいアイデアも生まれ、より内容の濃いプログラムとなったと感じています。

学術大会に参加することの醍醐味は、各分野の最先端と最前線の内容を学ぶことができることだと思います。そして、演題発表を通して繋がる会員の学びの場であり交流の場となることです。

これからも、より多くの方々が“参加したい！”と思う魅力ある学術大会の企画・運営に努めて参ります。

そして、ゼロから学術大会を創り上げていくことに興味のある方、ぜひ私たちと一緒に活動しませんか！



2023年6月30日

事務局からのお知らせ 6月



◆ 会員の動向（令和5年5月末現在）◆

会員数：925名（勤務先会員 880名、自宅会員 45名）、施設数：197施設

新入会員：25名、休会者数：4名、退会者数：1名

＊士会活動は皆様の会費によって運営されております＊

◆ 理学療法士賠償責任保険について ◆

本会では、理学療法士を賠償事故から守り、会員がより安心して業務に専念できるよう、「理学療法士賠償責任保険（任意加入）」を設けています。

平成28年11月1日より、これまで会員の任意加入のみであった「理学療法士賠償責任保険（任意加入部分）」に加え、本会の全会員＊1を対象とした、「理学療法士賠償責任保険（全員加入部分）」を新たに導入いたしました。

＊1：在会中（未納者）・入会手続中・復会申請中・休会中は除く

理学療法士賠償責任保険（全員加入部分） [＊保険料：本会負担]

基本プラン【＊保険料：本会負担】

★会員個別の加入申込み不要（対象会員へ自動付与）

★保険料の会員個人負担なし（本会で全額負担）

補償内容

補償項目	支払限度額
身体賠償	1事故 300万円（保険期間中 300万円）

保険対象者（＊全員加入部分の条件）

1）在会会員であること

注1）休会会員は対象外

注2）入会手続中・復会申請中は、年会費納入後、在会会員になってから対象

2）年会費を納入済みであること

注1）在会会員であっても、未納者は対象外

支払い事例（理学療法士賠償責任保険＜身体賠償＞）

- 身体に障害のある者に対する理学療法業務中の事故
例：右ひじ屈曲の関節可動域運動中、誤って上腕骨を骨折させた。
- 健常者に対する理学療法業務中の事故
例：ケガの予防的処置として理学療法を行った結果、該当箇所を痛めてしまった。
- 研究・実験中の事故
例：教育・医療機関で臨床研修中、被験者にケガを負わせた。

2023年6月30日

上乘せ補償プラン（任意加入部分） **【*保険料：会員個人負担】**

本制度は日本理学療法士協会がお勧めする制度です。このシステムでは、団体保険のご加入手続きをインターネットで行っていただくことが可能です。

★任意加入制度の内容・申込方法は日本理学療法士協会のマイページからお願いいたします。

※在会者のみ申込可能

※入会や復会申請手続き等のタイミングにより、申込開始までお時間をいただくことがありますので予めご了承ください。

◆ 会員の皆様へ ◆

会員の皆様、平素より当会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

コロナウィルス感染症は5月8日に5類感染症に位置づけられたとはいえ、以前の様な生活にはまだ戻れておりません。

自身での健康管理・危機管理の下、ストレスをためないよう適宜ガス抜きが必要と思います。

協会のマイページにクラブオフのご案内がございます。会員の方はレストラン・ホテル・カラオケ・映画館・等が優待価格でご利用いただけます。ぜひご覧ください。



賛助会員

有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目	株式会社 大塚製薬工場 https://www.otsukakj.jp/
北陸大学 〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘 1-1	順不同